



手足口病について



手足口病は、口の中や手足などに水疱を伴う複数の発しんが出る感染症で、こどもを中心に、主に夏に流行します。2歳以下が半数を占めますが、小学生でも流行的発生がみられることがあります。

感染経路は、飛沫感染、接触感染、糞口感染（便と一緒に排泄されたウイルスが口に入って感染すること）が知られています。

症状は？

感染してから3~5日後に、口の中、手のひら、足底や足背（足の甲）などに2~3mmの水疱を伴う複数の発しんが出ます。発熱は約3分の1にみられますが、38℃以下のことが多く高熱が続くことは通常はありません。ほとんどの発病者は、3~7日のうちに治る病気ですが、まれに合併症を起こし、重症化することがあります。

治療方法は？

特別な治療方法はなく、症状に応じた対症療法を行います。まれに重症化することがあるため、経過観察をしっかりと行い、**高熱が2日以上続く、嘔吐する、頭を痛がる、視線が合わない、呼びかけに答えない、呼吸が速くて息苦しそう、水分が取れずにおしっこが出ない、ぐったりしている**などの症状がみられた場合は、医療機関への受診をご検討ください。

● 予防するために日頃からのしっかりと手洗いが大切です ●

手足口病は、治った後も比較的長い期間便の中にウイルスが排泄され、また、感染しても発病しないままウイルスを排泄している場合もあると考えられることから、特におむつを交換する時には、排泄物を適切に処理し、しっかりと手洗いをしてください。手洗いは流水と石けんで十分に行い、タオルの共用は避けましょう。

定点種別	疾患名	状況	17週(4/20~4/26)		18週(4/27~5/3)	
			報告数	定点当り	報告数	定点当り
急性呼吸器感染症 (ARI)	インフルエンザ	-	12	0.52	6	0.26
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	/	6	0.26	5	0.22
	急性呼吸器感染症(ARI)	/	1208	52.52	1261	54.83
小児科	RSウイルス感染症	/	7	0.50	4	0.29
	咽頭結膜熱(プール熱)	-	1	0.07	0	0.00
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	58	4.14	81	5.79
	感染性胃腸炎	-	48	3.43	49	3.50
	水痘(みずぼうそう)	-	6	0.43	2	0.14
	手足口病	-	15	1.07	35	2.50
	伝染性紅斑(りんご病)	-	4	0.29	3	0.21
	突発性発しん	/	12	0.86	9	0.64
	ヘルパンギーナ	-	3	0.21	8	0.57
眼科	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	-	3	0.21	1	0.07
	急性出血性結膜炎	-	0	0.00	0	0.00
基幹	流行性角結膜炎(はやり目)	-	3	0.60	0	0.00
	細菌性髄膜炎	/	0	0.00	0	0.00
	無菌性髄膜炎	/	1	0.20	3	0.60
	マイコプラズマ肺炎	/	2	0.40	1	0.20
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	/	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	/	0	0.00	1	0.20	

※「状況」欄は、疾患ごとの警報・注意報レベルを表示しています。表中の斜線は、基準値が定められていないことを示します。

○:警報レベル △:注意報レベル -:警報・注意報レベルなし